

2020年5月23日

毎日新聞

3割お得な宿泊券

県内のおかみ会「ぜひ来て」

県内の旅館やホテルのおかみが協力し、1万円のおかみ協賛券を1万3000円分の宿泊券などとして利用できる「みやぎお宿メール券」を売り出した。6月5日まで販売、新型コロナウイルス



宿泊券をPRする「おかみ会」会長の阿部憲子さん—南三陸町

ウイルス感染症の収束を見据え、利用期間を7月1日から12月29日までとした。おかみ会会長の阿部憲子さん(58)は「落ち着いたら、ぜひ泊まりに来てほしい」と話している。

大崎市の鳴子温泉などにある17の宿泊施設で買える。購入先の施設で宿泊代のほか、食事や入浴、お土産代などに充てることができ

伝統の技と心—手づくりの酒

電話 0229-55-3322 (代)
お酒は20歳になってから

メール券は10000

円券13枚つづり。東日本大震災の津波で大きな被害を受けた沿岸部や、仙台市の秋保温泉、

17施設は外出自粛に伴い利用客が急減し、経営が厳しい。おかみ会は「前向きな気持ちを持って、できることから始めたい」(阿部さん)とメール券を考察した。

問い合わせは阿部さんがおかみを務める「南三陸ホテル観洋」内の事務局(電話0226・46・2442)。